

沈黙考 ちんもっこう

ふるさとを想う



深谷市長
新井家光

気が付けば今年もはや「師走」です。「師走」は、神社に属する御師おんしというかたが、年末に神札しんさつを配り巡った行事が語源として有力だそうです。神社の恒例行事だったのでしょう。

日本各地の神社は山、岩、森など多く自然を信仰の対象としたものが始まりといわれています。そうした多くのものは現在ではふるさとの情景として、人々の心に残っているものです。

ふるさは遠きにありて思ふもの

作家室生犀星むろうさいせいの有名な詩の一節です。確かにいつも身近に接していると、その大切さに気付かないのかもしれませんが。外から眺めてみると、ふるさとの輪郭がはっきりするものなのでしょうか。

ふるさと深谷の情景といえば、唐沢堤の桜、荒川の花火、白鳥、鐘撞堂山、コスモス、夏祭り

などが挙げられます。こうした情景は、毎年募集している観光写真コンクールで多くのかたにご応募いただいている題材でもあります。「見てもらいたい」という視点で深谷を見つめたとき、また、新たな情景が見えてくるかもしれません。

ふるさととは、郷愁の中にある大切な思い出の場所です。ところが、十代、二十代の頃は、面と向かってふるさとと言われても、なんだか面映おもはがゆい感じがしました。意識していないと言ひ換えられるかもしれません。空気のような、しかし大切な存在。それが「ふるさと」ではないのでしょうか。今後も市民の皆様が「ふるさと深谷」を大切に思っただけのような、そんな深谷をつくって参りたいと考えております。

室生犀星は先の一節の後「ふるさとおもひ涙ぐむ」と筆を進めています。犀星は、決してふるさを美化しているわけではなく、むしろ詩全体では、厳しい目を向けています。しかし、だからこそより一層、掛け替えのない存在であることが鮮明になります。時には厳しく、時には優しく「ふるさと深谷」に想いを馳せていただければ、市長としてたいへん有難く思います。

夢はめぐりて 忘れがたきふるさと
たかの たつゆき
高野 辰之



締め切り 平成22年1月8日(金)まで(当日消印有効)
募集サイズ カラープリント四ツ切(ワイド四ツ切可)
デジタルカメラで撮影した写真も可
褒賞 各種褒賞ほか、参加賞もあり
問い合わせ 市観光協会(☎575-0015)

深谷市観光協会では、「第13回深谷観光写真コンクール」を開催します。たくさんのご応募をお待ちしています。
※応募要領および応募票は、市観光協会事務所(JR深谷駅構内)、市役所本庁舎1階総合案内、各総合支所、深谷商工会議所、豊里・岡部・川本・花園商工会、市内カメフラ店にあります。
題材 四季を通じた深谷の名所、自然、風俗、文化財、その他、市内各地で行われる行事とし、観光宣伝に適切と思われる未発表の写真で、平成21年1月1日〜12月31日までの期間に撮影されたもの

深谷観光写真コンクール作品募集

「沈黙考」ワンポイント解説

上柴地区複合施設 3階スペースの愛称を募集します！



完成予想イメージ図

市では、上柴地区に建設中の複合施設3階公共スペースの愛称を募集します。この3階公共スペースには、生涯学習センター・公民館、勤労者家庭支援施設(L・フォルテ)が設置されます。上柴地区の新たなシンボルにふさわしい愛称をお待ちしています。

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 1 応募資格 | 市内在住・在学・在勤・在活動者 |
| 2 募集内容 | 「上柴地区複合施設」の公共施設愛称 |
| 3 愛称基準 | ①幅広い年代に親しまれるもの
②他施設などの愛称と類似していないもの |
| 4 募集期間 | 平成22年1月8日(金)まで |
| 5 選考方法 | 選考委員会で審査 |
| 6 採用案の発表 | 平成22年2月下旬ごろ |
| 7 賞品 | 採用案にクオカード30,000円分 |
| 8 個人情報 | 今回の愛称募集に係る用途以外に使用しません。 |
- ※採用案に複数の応募があった場合、賞品は按分した額とします。

募集要項

応募方法

下記の受付場所に、応募箱と応募シートがありますので、必要事項を記入の上、ご応募ください。また、市ホームページ、市モバイルサイトからもご応募いただけます。

応募受付場所

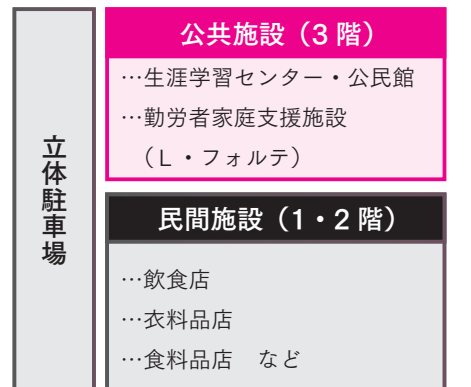
- 市役所本庁舎1階総合案内
- 教育委員会1階
- 図書館1階窓口
- 各総合支所
- 各公民館

市モバイルサイトは
ここからアクセス！

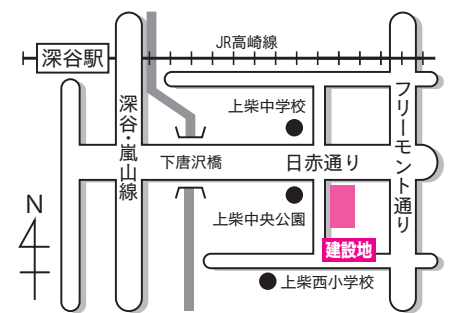


建物イメージ図

今回募集するのは、この3階部分の愛称です



■住所：深谷市上柴町西4丁目2番地6、17



広報ふかや10月号25ページでお知らせしました『上柴地区複合施設の建設工事』が、10月15日に着工されました。本工事は、平成22年11月ごろの公共施設開館を目指し、複合施設・立体駐車場の建設工事、ならびに土地区画整理事業のモニュメント(記念碑)移設などを行います。工事期間中は、何かとご迷惑をお掛けしますが、安全には十分に配慮して工事を実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。
※建設業者 戸田建設株式会社関東支店・古郡建設株式会社